

平成30年度名古屋市立大学芸術工学部入学者選抜試験  
実技試験の問題と答案例および講評について

■前期日程

評価のポイント(募集要項掲載)「描写力(対象を正確に把握できるか)を中心に評価します。」

実技問題(120分)

配付された丸缶, 色画用紙(黄色), 発砲スチロールを, 机の上に自由に配置し, 鉛筆で描写しなさい。

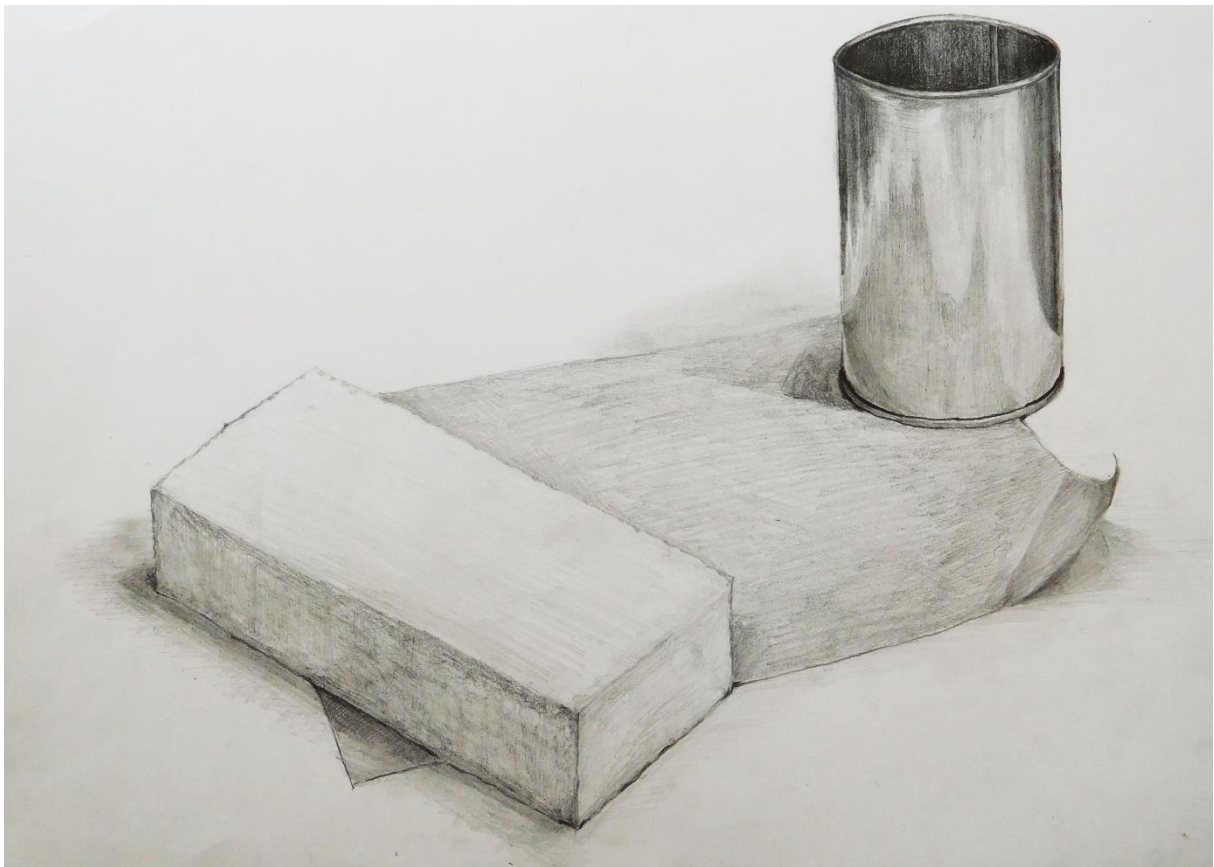
[描写対象物]

- ・丸缶 1個
- ・色画用紙(黄色) 1枚
- ・発砲スチロール 1個

[条件]

- ・描写対象物はすべて描くこと。
- ・丸缶と発砲スチロールは加工してはいけない。
- ・色画用紙(黄色)は, 切断以外であれば自由に加工してよい。
- ・持参した鉛筆で描くこと(色鉛筆は使用しないこと)。
- ・解答用紙のタテ使い, ヨコ使いは自由。

【答案例および講評】



モノの置かれた状態の描写が曖昧ではあるが、3つのモチーフの質感・固有の色彩も表現しようとしている意識が感じられる。また、細かい部分までよく観察し、忠実に描写しようとしている姿勢は評価に値する。

## ■後期日程

評価のポイント(募集要項掲載)「構想力・表現力(想像力や柔軟なアイデアの表現)、描写力(対象を正確に把握できるか)等を評価します。」

### 実技問題 I (120 分)

配布されたプラスチックカップに 100 ml の水が入った状態を想定したものと、150 mm×150 mm×10 mm の木の板を 2:1 に分割した状態を想定したものを、机の上に自由に配置し鉛筆で描写しなさい。

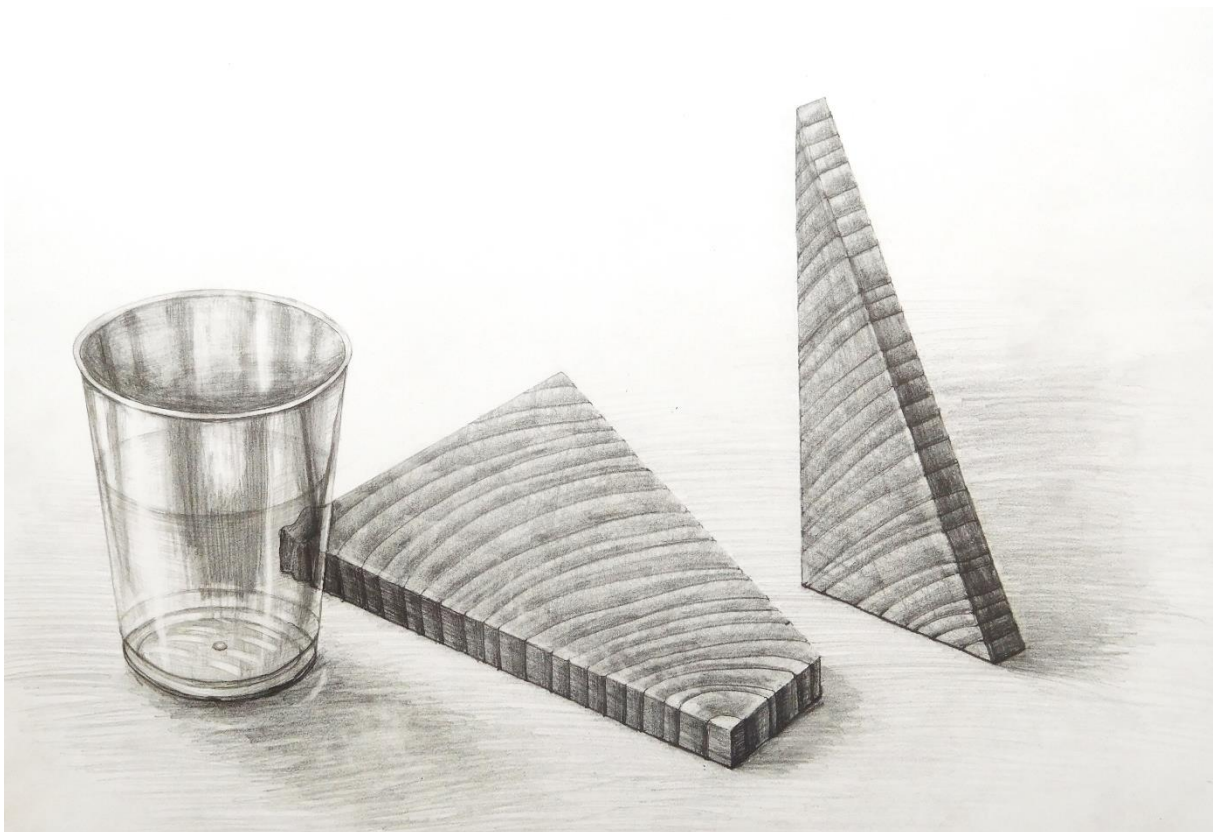
[描写対象物]

- ・100 ml の水が入ったプラスチックカップ
- ・2:1 に分割したそれぞれの木の板

[条件]

- ・描写対象物はすべて描くこと。
- ・プラスチックカップは加工してはいけない。
- ・持参した鉛筆で描くこと(色鉛筆は使用しないこと)。
- ・解答用紙のタテ使い, ヨコ使いは自由。

【答案例および講評】



分割した木の形態の工夫は乏しいが、モノの置かれた状態や空間は表現されていて、大胆な構成は力強い。質感・量感の捉え方も良い。

## 実技問題Ⅱ (180分)

ある川原で桜の花見をすることとなった。そこで数人が一緒に食べるために使用する弁当箱を、デザインしなさい。弁当箱が広げられた様子を、解答欄Aに描写しなさい。

また、デザインした弁当箱の趣旨文(120字程度)を解答欄Bに、大きさ、材質など仕様を説明する図(文字を使用してもよい)を解答欄Cに、それぞれ記しなさい。

[条件]

- 解答欄Aには、弁当箱に食べ物が入っている状態がわかるように描写すること。
- 弁当箱の素材は自由とする。
- 解答にあたっては、解答欄Aには色鉛筆を、解答欄B・解答欄Cには鉛筆を、それぞれ用いること。
- 解答用紙はタテに使用すること。

### 【答案例および講評】



「コミュニケーション」をコンセプトとしていて、みんなで楽しく花見ができるようなアイデアは評価できる。色彩・材質等状況説明の表現力が伴えば、より良さが伝わったと思われる。